

YA21117a

年度	配当	区分	科目名	担当教員	回数	単位
2021	前期	基本	アカデミック・ライティング	劉昊 沼田隼人 森村将平 門屋寿 白皓	15	2

## 授業の目的

本科目では、学術的文章の作成に必要とされる技法を学びます。文章を書くうえで必要とされるのは、専門知識だけではありません。読み手に伝わるような文章を書く力も必要となります。とりわけ、修士論文は5万字を超えるような長い文章では、語句の選び方や段落の役割などに注意を払わないと、読者はついていけなくなります。また、論文には論文に相応しい表現もあります。本科目では、グループワークを通じて、学術的な文章を書くとはどういうことなのかを理解していきます。

## 授業の到達目標

学術的文章を作成する際の技法を習得する。具体的には、

- ・使用する語句を吟味し、伝えたい事柄ごとに文を構成できる。
- ・文の組み合わせを考え、伝えたい内容を明確にできる。
- ・学術的文章として相応しい引用方法を身につけ、他者の議論から自分の議論を適切に展開できる。

## 履修条件

本科目は、グループワークが中心となるため、履修者の積極的な姿勢が求められる。

## 授業計画

回	授業内容	日程
1	【ガイダンス】学術的文章とは何か、論文とはどういうものか、アカデミック・ライティングの位置付けを理解する。(劉)	4月4日(日) ①9:30-11:00
2	【助詞、接続詞の使い方】文章作成の基本である、助詞の使い方を理解する。文動詞の関連性を明確にする接続表現の適切な使い方を理解する。(門屋)	4月11日(日) ①9:30-11:00
3	【一文一義】学術的文章の作成にあたって、最も基本的かつ重要な技術である一文一義を学ぶ。無意味に読点が打たれ、ダラダラと続く冗長な文章の回避を図る(裁判官の書く判決文にもこのような悪い例は多々ある)。(森村)	4月18日(日) ①9:30-11:00
4	【グループワーク】課題で執筆した文章に対するピアリーティングやコメントを通じて、学んだ技術に対する理解を深めるとともに、文章を批判的に検討する技術を身につける。	4月25日(日) ①9:30-11:00
5	【語句の明確化】書き手の意図が正確に伝わるよう、明確な語句の使用法と注意点を理解する。不用意に語句がぶれることで、論理の一貫性が失われないようにする。(沼田)	5月9日(日) ①9:30-11:00
6	【グループワーク】課題で執筆した文章に対するピアリーティングやコメントを通じて、学んだ技術に対する理解を深めるとともに、文章を批判的に検討する技術を身につける。	5月16日(日) ①9:30-11:00
7	【パラグラフリーディング、パラグラフライティング】パラグラフ(段落)の考え方を踏まえ、トピック・センテンスを読み取る練習、パラグラフ(段落)ごとに説明をまとめる練習をする。なんとなくパラグラフ(段落)を分けるのではなく、書き手の意図を持ってパラグラフ(段落)を分ける練習をする。(森村)	5月23日(日) ①9:30-11:00
8	【グループワーク】課題で執筆した文章に対するピアリーティングやコメントを通じて、学んだ技術に対する理解を深めるとともに、文章を批判的に検討する技術を身につける。	5月30日(日) ①9:30-11:00
9	【序論・本論・結論の役割】論文を書くうえで、序論・本論・結論がどのような役割を果たすのかを理解する。(門屋)	6月6日(日) ①9:30-11:00
10	【グループワーク】課題で執筆した文章に対するピアリーティングやコメントを通じて、学んだ技術に対する理解を深めるとともに、文章を批判的に検討する技術を身につける。	6月13日(日) ①9:30-11:00
11	【キーワード引用、出典の示し方】他者の論を引用する際の形式・ルールを学び、本文中の引用法を習得する。剽窃・盗用を避けるべく、引用に使った文献情報の正しい記載方法を学ぶ。(沼田)	6月20日(日) ①9:30-11:00

12	【ブロック引用】他者の論を引用する際の形式、ルールを学ぶとともに、引用部分を踏まえた上で、自身の論を展開できるようにする。(森村)	6月27日(日) ①9:30-11:00
13	【グループワーク】課題で執筆した文章に対するピアリーティングやコメントを通じて、学んだ技術に対する理解を深めるとともに、文章を批判的に検討する技術を身につける。	7月4日(日) ①9:30-11:00
14	【グループワーク】課題で執筆した文章に対するピアリーティングやコメントを通じて、学んだ技術に対する理解を深めるとともに、文章を批判的に検討する技術を身につける。また、最終レポートに向けて文章の検討を行う。	7月11日(日) ①9:30-11:00
15	【最終レポート】授業の総まとめを行う。(劉)	7月18日(日) ①9:30-11:00
試験	レポート	

## 使用教科書／評価方法等

教科書	なし (レジュメを配布する。)
参考書	佐渡島紗織・吉野亜矢子(2008)『これから研究を書くひとのためのガイドブックーライティングの挑戦 15 週間ー』ひつじ書房.
評価方法	出席・授業内課題等 40%、期末レポート 60%
その他	

YA21117b

年度	配当	区分	科目名	担当教員	回数	単位
2021	後期	基本	アカデミック・ライティング	劉昊 沼田隼人 森村将平 門屋寿 白皓	15	2

## 授業の目的

本科目では、学術的文章の作成に必要とされる技法を学びます。文章を書くうえで必要とされるのは、専門知識だけではありません。読み手に伝わるような文章を書く力も必要となります。とりわけ、修士論文は5万字を超えるような長い文章では、語句の選び方や段落の役割などに注意を払わないと、読者はついていけなくなります。また、論文には論文に相応しい表現もあります。本科目では、グループワークを通じて、学術的な文章を書くとはどういうことなのかを理解していきます。

## 授業の到達目標

学術的文章を作成する際の技法を習得する。具体的には、

- ・使用する語句を吟味し、伝えたい事柄ごとに文を構成できる。
- ・文の組み合わせを考え、伝えたい内容を明確にできる。
- ・学術的文章として相応しい引用方法を身につけ、他者の議論から自分の議論を適切に展開できる。

## 履修条件

本科目は、グループワークが中心となるため、履修者の積極的な姿勢が求められる。

## 授業計画

回	授業内容	日程
1	【ガイダンス】学術的文章とは何か、論文とはどういうものか、アカデミック・ライティングの位置付けを理解する。(劉)	10月3日(日) ①9:30-11:00
2	【助詞、接続詞の使い方】文章作成の基本である、助詞の使い方を理解する。文動詞の関連性を明確にする接続表現の適切な使い方を理解する。(門屋)	10月10日(日) ①9:30-11:00
3	【一文一義】学術的文章の作成にあたって、最も基本的かつ重要な技術である一文一義を学ぶ。無意味に読点が打たれ、ダラダラと続く冗長な文章の回避を図る(裁判官の書く判決文にもこのような悪い例は多々ある)。(森村)	10月17日(日) ①9:30-11:00
4	【グループワーク】課題で執筆した文章に対するピアリーティングやコメントを通じて、学んだ技術に対する理解を深めるとともに、文章を批判的に検討する技術を身につける。	10月24日(日) ①9:30-11:00
5	【語句の明確化】書き手の意図が正確に伝わるよう、明確な語句の使用法と注意点を理解する。不用意に語句がぶれることで、論理の一貫性が失われないようにする。(沼田)	10月31日(日) ①9:30-11:00
6	【グループワーク】課題で執筆した文章に対するピアリーティングやコメントを通じて、学んだ技術に対する理解を深めるとともに、文章を批判的に検討する技術を身につける。	11月7日(日) ①9:30-11:00
7	【パラグラフリーディング、パラグラフライティング】パラグラフ(段落)の考え方を踏まえ、トピック・センテンスを読み取る練習、パラグラフ(段落)ごとに説明をまとめる練習をする。なんとなくパラグラフ(段落)を分けるのではなく、書き手の意図を持ってパラグラフ(段落)を分ける練習をする。(森村)	11月14日(日) ①9:30-11:00
8	【グループワーク】課題で執筆した文章に対するピアリーティングやコメントを通じて、学んだ技術に対する理解を深めるとともに、文章を批判的に検討する技術を身につける。	11月21日(日) ①9:30-11:00
9	【序論・本論・結論の役割】論文を書くうえで、序論・本論・結論がどのような役割を果たすのかを理解する。(門屋)	11月28日(日) ①9:30-11:00
10	【グループワーク】課題で執筆した文章に対するピアリーティングやコメントを通じて、学んだ技術に対する理解を深めるとともに、文章を批判的に検討する技術を身につける。	12月5日(日) ①9:30-11:00
11	【キーワード引用、出典の示し方】他者の論を引用する際の形式・ルールを学び、本文中の引用法を習得する。剽窃・盗用を避けるべく、引用に使った文献情報の正しい記載方法を学ぶ。(沼田)	12月12日(日) ①9:30-11:00

12	【ブロック引用】他者の論を引用する際の形式、ルールを学ぶとともに、引用部分を踏まえた上で、自身の論を展開できるようにする。(森村)	12月19日(日) ①9:30-11:00
13	【グループワーク】課題で執筆した文章に対するピアリーティングやコメントを通じて、学んだ技術に対する理解を深めるとともに、文章を批判的に検討する技術を身につける。	1月9日(日) ①9:30-11:00
14	【グループワーク】課題で執筆した文章に対するピアリーティングやコメントを通じて、学んだ技術に対する理解を深めるとともに、文章を批判的に検討する技術を身につける。また、最終レポートに向けて文章の検討を行う。	1月16日(日) ①9:30-11:00
15	【最終レポート】授業の総まとめを行う。(劉)	1月23日(日) ①9:30-11:00
試験	レポート	

## 使用教科書／評価方法等

教科書	なし (レジュメを配布する。)
参考書	佐渡島紗織・吉野亜矢子(2008)『これから研究を書くひとのためのガイドブックーライティングの挑戦 15 週間ー』ひつじ書房.
評価方法	出席・授業内課題等 40%、期末レポート 60%
その他	